

校長室だより

# 共学共高

第  
81  
号

令和7年5月30日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武内 彰

## 体育祭～燃えた！全校行事 part2

昼食休憩をはさんで、午後の部の開始である。最初の種目は部活対抗リレーである。はじめに文化部、次に運動部のレースである。文化部は速さを競うというよりは、各部の特色を出してアピールするものとなっていて面白い。リレーバトンもそれぞれの部で工夫されている。軽音楽部は段ボールで作ったギター、箏曲部はお琴（本物かどうかは不明）、放送部はビデオカメラなどなど。茶道部の浴衣姿や演劇部の衣装姿も人気である。その中でも、勝負に出た軽音楽部が第1位でゴールした。



運動部は、本気勝負である。とにかく速さを競う。これまでは陸上競技部とハンドボール部の競り合いとなるが多かったが、今回は陸上競技部が圧倒的に速かった。大健闘したのが、バレーボール部である。途中まで、第3位であったが、ゴール時点では第2位となった。第3位はハンドボール部。第4位はバドミントン部。私がわき目もふらずにバドミントン部を絶叫大応援したのは間違いのない事実である。



続いて、バトン部、ダンス部の演技である。御来賓の小平市長 小林洋子様はわざわざ演技を御覧になるために、再度御来校してくださった。ありがたいことである。もちろん、両部とも生徒からも保護者からも人気の部であり、いつも大きな声援をもらっている。両部とも大学受験のためにこの演技をもって締めくくりとする 3 年生たちがいて、演技終了後には涙を流す姿も見られた。



その後、クラス対抗リレーが 1 年⇒3 年⇒2 年の順に行われる。こちらも盛り上がる種目である。選手が生徒席の前を走り抜けるたびに、大きな声援が送られる。様々な種目で何度走っている生徒も複数いるが、なかなかタフである。



3 年綱引き決勝も見応えがあった。担任の先生も全力応援である。8 組と 7 組の争いを制

したのは、8組であった。私はすっかり写真を撮るのを失念してしまった。

締めくくりの競技は、障害物リレーである。1年⇒2年⇒3年の順に行われる。障害物の種類も多く、なかなか難易度も高い。風船を膨らませてテニスラケット2本で風船をはさみ、往復走った後に、椅子の上に風船を置き、お尻で割る、といったものもある。風船が風で飛ばされて大変な思いをした生徒もいる。3人くらいでシートを引っ張り、シートの上にいる複数の生徒がジャンプをしながら移動する「シートジャンプ」もなかなか大変だ。特に1年生ははじめての経験となるので、苦勞することがある。最終でゴールを目指すクラスに対して、先にゴールした他クラスが手拍子で応援している姿も見られた。

3年生では恒例の段ボール絵合わせが完成して終了となる。担任の先生の特徴をよくとらえている。絵心のある生徒がいるのだ。こちらを見るのも楽しみの一つとなっている。





閉会式では、体育委員長の D さんから成績発表がなされる。そのたびに、全校生徒から拍手が起きる。表彰、参加賞授与と続く。参加賞は例年と同じノートであろうか。副委員長の H さんに渡すとき、かなりの重さを感じた。生徒会長の S さんによる閉会宣言で体育祭は終了である。その後、生徒会による壮行会が行われた。ハンドボール部と陸上競技部が関東大会へ出場するからだ。いずれもインターハイ出場が決まる大切な大会である。こちらも健闘を祈る。

1 日を通して、どの種目においても、生徒たちが全力で取り組む姿を見ることができた。また、体育祭を大いに楽しみ、明日への力や勇気を得た生徒も多くいたことであろう。学校は学力だけではない、人として大切なものを育む場でもあるのだ。(おわり)

(共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す)